

全国防衛協会連合会青年部会の臨時役員会議

大阪防衛協会理事・青年部会

会長 鷺岡 和徳

3月16日、全国防衛協会連合会青年部会の臨時役員会議に東京の市ヶ谷に行って参りました。ご存知のとおり市ヶ谷は防衛庁があるところでその近くのグランドヒル市ヶ谷というホテルの会議室で行なわれました。

防衛協会はすべての都道府県に存在し、その中で青年部会がある会の会長が一同に会し防衛思想の普及と国民の意識の高揚を計るための会議です。九州四国はすべての県で青年部会が存在し、近畿も兵庫以外はすべて存在し、それぞれが地域に根付いた活動を行っています。

東京都は会員数250名、熊本県は450名、鹿児島は500名という規模で支部もたくさんあります。

議事内容は役員改選の件や平成17年度事業報告の件、本年度行なわれます全国青年部会研修大会（奈良）の件が審議されました。そのあと各県の報告があり協議事項として国防についての激しいディスカッションが始まりました。トータル4時間の会議でも時間が足りず懇親会場に場所を変えて2時間議論してきました。

現在日本を取り巻くさまざまな問題について私たちができる事、しなければならない事をそれぞれの立場で真剣に話し合いました。沖縄から参加された会長は尖閣の問題にまさに直面しています。「尖閣に自衛隊を駐屯すべしだ」「東シナ海に海上自衛隊を遊弋させるべきだ」

「日本は核を保持して自身で抑止力をつけなければならない」等々天皇家の皇位継承の話や教科書問題など議論は尽きる事はありませんでした。

今回、志が同じくする侍が集ったこの会議に参加し、私は国家の名誉と尊厳を守るため、自分たちの子供を含む子孫が平和と安全に暮らせる国家を作るためにより一層民の声を集め、世論を形成し「自分たちの国は自分で守る」という気概を周りの人々に対し醸成していかなければならないと実感しました。

島根県のメンバーの一人は竹島に本籍地を移しミスター竹島とよばれる人もおりました。

当日は最終便にて大阪に戻ってまいりました。しかしながらまったく疲れを感じなかったのはこの会議に参加し気力が充実したためと考えます。4月に大阪市内で定例の研修会をおこないます。皆様とお会いできる事楽しみにしております。